



東京都立高島特別支援学校

# 学校だより

令和8年 3月号

東京都立高島特別支援学校

校長 石川 拓

令和8年 2月27日 発行

## ■ 3月になります 進級・卒業の季節です

小学部6年生と中学部3年生の1年間の学習評価を読み終えました。毎日の営みの様子と、成長と、これからの課題が伝わってきます。間もなくお届けいたします。

先日、板橋区立美術館で開催していた小学校作品展を観に行きました。本校の作品が展示されているところで、小学部児童のご家族が鑑賞されていました。児童は家族の真ん中において、作品や学校生活のことを褒めてもらって嬉しそうにしていました。ご家族の喜びにつながる仕事を続けたいと思いました。



学年末の個別面談が終わりました。来校くださり率直に対話をいただきありがとうございました。個別面談期間中には「卒業・進級認定会議」を行っています。1年間の成長や様々な取組を振り返る中で、学校に通う日常を支えるご家族の日々の尊さについて考えました。

今年度の登校日数は、卒業学年は16日、その他の学年は17日です。あと少ししっかり勉強しましょう。全員の進級・卒業を喜び合いたいです。

2月下旬には、和紙の専門店に(写真)卒業式の式辞を書く奉書紙と、奉書紙を包む折巻紙を買いに行きます。

凜とした紙に清新な気持ちで式辞を書いて、心を込めて卒業証書を渡します。



2月24日に小学部・中学部の卒業式合同練習がありました。私も初めて登壇して一緒に練習しました。

立派に卒業することでしょう。とても楽しみです。

## ■ 3月11日(水) 全校保護者会・学年保護者会に御出席ください

今年度最後の保護者会です。午前中の全校保護者会では一年間の取組みの評価と課題、令和8年度学校経営計画の概要を説明いたします。詳細資料については、**3月9日**のさくら連絡網を通じてお知らせします。

当日来校されない保護者様もおられますので、**全校保護者会の内容は、リアルオンライン配信と、後日YouTube 限定配信をいたします。**

## ■ 令和8年度学校経営方針(概要)

児童・生徒、保護者、学校運営連絡協議会委員、教職員対象の学校評価アンケート、教職員のみ対象の業務改革推進アンケートの結果分析をもとに、学校運営連絡協議会から次年度の学校経営について提言をいただきました。提言に基づいて令和8年度の学校経営方針を作成中です。

2月18日開催のPTA顧問会と、2月20日開催の第三回学校運営連絡協議会では、令和8年度学校経営の概要(方向性)を示しました。今号では概要を掲載いたします。

3月11日の全校保護者会までには詳細な資料を共有させていただきます。

昨年度、今後5年間程度の未来を見据えた中期目標は2つ設定していました。急速な大規模化・過密化によって生じる課題解決を新たに加えることにいたします。

### 1【新規】「大規模・過密化対応」

新校舎竣工(令和17年度予定)

仮設校舎→新校舎竣工まで(10年想定)

「教育環境整備」「教育課程編成」「校務運営」改善・開発

### 2【継続】専門性向上

「教育課程改善」「業務改善」によって生み出した時間を活用して学校の専門性向上・魅力化を図る  
以下2課題は特に重要

※①「キャリア形成を促す指導」(つながりのあるカリキュラムの開発)

※②認知コミュニケーション指導力向上(障害理解・デジタルやAT(支援技術)活用促進を含む)

### 3【継続】「共生社会実現」

特別支援教育センター校として貢献する教育実践の開発・普及と、情報発信を持続・継続できる組織を構築する。※情報発信の在り方も常に検証刷新

# 令和8年度学校経営計画の骨子と改革プランの概要

※表中、赤文字「都指定事業」、黄色文字 学校独自の新規取組

## 令和8年度 学校経営計画 概要版 2/27版

I：中期重点課題		
①大規模過密化対応：新校舎竣工（令和17年度予定）仮設→新校舎竣工まで（10年想定）「教育環境整備」「教育課程」「校務運営」改善・開発 ②専門性向上：キャリア視点・つながりのあるカリキュラム作成、認知コミュニケーション指導力向上（障害理解・デジタル・A T活用促進） ③共生社会実現：地域のセンター校としての支援の質・量の維持、理解充実の促進		
II：短期重点課題・継続重点課題		
経営の重点	課題	経営の方向性
1 人権尊重	理念共有と省察（リフレクション）の継続 「経営の土台」である意識・理念共有 異職種職員の理解・充実	教職員行動指針の活用・教職員向け有識者等招聘研修 管理職・主幹による継続指導地道に継続し人権意識を維持向上 SB連絡会でのミニ講座計画実施等
2 安全安心	危機意識の維持 異職種職員の理解・充実 校舎老朽化機能維持・過密狭小化対応	実地研修の継続と形骸化させない手立ての構築 事故防止のため各種ルールの繰り返しの周知、凡事徹底 施設修繕等に係る教員と企画室の連携継続、必要に応じ都の支援を得る
3 専門性 向上	高島スタンダード開発（継続） キャリア教育、デジタル利活用能力底上げ ※都指定事業での成果を生み出すために外部 専門員活用方向性の共有 「社会性の学習」の学習指導内容整理・開発	①各教科等を含めた指導の標準的指導内容作成 ②障害の程度が重い児童・生徒の認知コミュニケーション学習指導力向上 都指定事業(単年度)「障害の程度が重い児童・生徒のデジタル活用場面の拡大」 ③キャリア教育の標準的指導内容作成 ※練馬特支・板橋特支との人的交流・研修企画 ④自閉症学級担当者等への都研修センター継続支援要請
4 共生社会	現状の良い取組みの継続実施と情報発信充実 理解充実へのさらなる取組・地域巻き込み センター的機能発揮時の支援後の状況共有	高校との協働：施策展開に成果還元(継続)蓄積・発信 都指定事業 (R9まで指定) 学校間交流刷新の最終年度 9月目標で固める 副籍：持続継続できる取組構築 情報発信継続+質的向上、地域の巻き込み(社会教育施設活用・防災連携)
5 校務改善 学校魅力化	新たな課題に対応した組織改編必須 労働時間短縮 ワークシェア 一部業務外部委託（継続） 更なるDX推進	校務分掌見直し ①大規模過密化 ②業務改革推進 都指定事業 養教定数改善（単年度） ③専門性向上推進組織づくり 余白の時間を学校魅力化に（情報発信・理解充実を持続継続する方策の検討導入） ・外部委託の他校・全都への普及に貢献継続 ・オフィスタイト継続（横断的業務・協働推進⇨業務ライン毎の効率化・業務整理） ・ <b>中学部短縮授業日を月1～2日設定</b>

### ■ 未来に必要な力をつけよう ～学校間交流～

主幹教諭 佐藤 亜紀子

今年度も近隣小・中学校と学校間交流を行いました。本校の学校間交流は、50年を超える歴史があります。学校間交流を継続することによって、「子供たち同士の学び・育ちが豊かになる」「学校の教職員の障害理解が広まっていく」と考えています。

小学部では、交流の前に特別支援学校のことなどを伝える事前学習を小学校の教室で行ったり、オンラインで紹介し合ったりしたのち本校に小学生が来校し、各校で練習した歌やダンスの発表、お互いの協調が必要なリレーゲーム、ポッチャなどの活動を行っています。



中学部では、初夏に高島第三中学校へ保護者代表とコーディネーターが行き、7年生へ理解啓発講演をしました。そして、冬に7年生が来校

し、本校中学部1年生から3年生までとチーム分け、ポッチャ交流をしました。

### ≪交流会実施日一覧≫

小学部	1年	高島第五小学校	1月20日
	2年	2年生	12月15日
	3年	高島第三小学校	12月10日
	4年	2年生	1月21日
	5年	高島第三小学校	12月12日
	6年	5年生	1月27日
中学部	理解啓 発講演	高島第三中学校	5月9日
	全体交 流	7年生	1月23日

交流後には「普段はすごく近い距離で生活しているのに関りがなく、今回の交流で高島の生徒の名前を知ったこと、しゃべったことが一番の印象だった」「あまり人と関わったりするのは得意ではないけど、この交流を通して仲を深めることができた。これからの学校生活に生かしたい」というような交流校生徒の感想もありました。さまざまな子供たちが一緒に交流活動をするを通して、違いを理解し、受け入れる力、未来に必要な力(共生、協働、多様性理解、問題解決など)が、育まれていることを実感しました。

○画像はX(エックス 旧ツイッター)に投稿したのから選びました。Xでは他にも交流活動や学習の様子などのトピックスを随時配信しています。併せ

て御覧ください。

## ■ 第2回防災教育推進委員会

生活指導部主任 主幹教諭 竹田 憲功



2月に本年度第2回防災教育推進委員会を開催し、消防署、警察署、地域自治会の皆様にご来校いただき、火災を想定して、赤塚公園の避難訓練の様子をご参観いただきました。

児童・生徒が放送や教職員の指示をよく聞き、落ち着いて迅速に避難する姿が見られ、委員の皆様からは「大きな成長が感じられる」と評価をいただきました。ヘルメットを着用し、静かに話を聞く態度にも驚いていました。

本校では、避難訓練を形骸化させないことを重視し、毎月内容を工夫して実施しています。地震・火災・水害・落雷など多様な災害を想定した訓練を計画し、訓練後には学年ごとに振り返りを行い、次回に反映させることで、より実践的な防災行動が身に付くよう取り組んできました。

特に水害訓練については、荒川氾濫の危険性を踏まえ、重要書類の搬出、1階備品の移動、本部の二か所設置など、実際の災害に即した対応を取り入れました。また、総合防災訓練では、起震車体験、煙体験、避難所体験、非常食試食などの防災教育を実施し、防災意識の向上につなげています。

委員会では、児童生徒数の急増に伴う避難方法の見直し、異常気象への対応、福祉避難所としての学校運営、近隣学校や地域との連携の在り方など、多くの重要な意見や助言をいただきました。いただいたご意見を今後の取組に活かし、児童・生徒が自らの命を守る行動ができるよう、引き続き防災教育を充実させてまいります。



## ■ 「卒業」へ向けての取り組み

〈小部6年生〉

学年主任 阿部 のぞみ

小学部卒業へ向けて、小学部入学から6年間の写真を見ながら、心も体も大きくなった自分たちの成長を振り返っています。そして、中学部作業学習体験や中学部体験入学などを終えて、中学部進学へ向けた期待が子供たちの中で高まってきています。

3月4日に行われる「6年生を送る会」では、6年間を振り返って楽しかったこと、頑張ったこと、中学部に向けて頑張りたいこと、今までお世話になった

方々へ伝えたい言葉などをまとめて発表します。「はじめての移動教室、みんなでお風呂楽しかった」「学習発表会、ラ



イオンキングがんばったよ」「6年生のみんなと、体育を一緒に頑張れてうれしかった」「中学部に行ったら、校庭で走ることをがんばりたい」「お母さんにえらいよと言ってもらえてうれしかった」など、子供たちの思いの詰まった言葉とダンスと一緒に発表します。



卒業式へ向けた練習では、カッコいい姿を本番で見せるため、体育館で練習を積

み重ねています。一列に並んで入退場をすることや卒業証書を受け取る流れを繰り返し練習していく中で、自信をもって取り組む姿がとても頼もしく感じます。

卒業まであと少しですが、一日一日を大切に、仲間とともに楽しく過ごしてほしいと思っています。

〈中学部3年生〉

学年主任 前田 愛

高等部の入学相談を終え、卒業式の練習も始まり、高等部への期待が高まると同時に、卒業の日が近づいていることを感じます。

2月から始まった卒業式の練習では、壇上までの

動きや、証書授与の仕方を繰り返し行って覚えていきます。最初は緊張した様子も見られましたが、回を重ねるごとに表情が引き締まり、歩き方や受け取り方も、堂々としてきています。練習日程は少ないですが、卒業式に有終の美を飾れるよう、集中して練習を進めていきます。

また3月10日は卒業生を送る会が予定されています。そこでは高等部で楽しみにしていること、頑張りたいことを、1,2年生の前で一人ずつ発表する予定です。

入学してから3年間、振り返るといろいろな思い出があります。高島で過ごす日々もあとわずかですが、関わってくださったすべての方々に感謝の気持ちを込めて、仲間と過ごす時間を大切にしていきたいと思います。

## ■ スクールカウンセラーより

スクールカウンセラー 岡本 未帆

日中の日差しが暖かな日も増えて、だいぶ春めいてきました。三月は、一年間の締めくくりの月です。さて、一年前の自分を思い出してみましょう。一年間でずいぶんできることが増えたのではないのでしょうか。四月からは、新しい学年、学校です。今年一年の成長を生かして、自信をもって新しい一年を楽しんでいきましょう。

